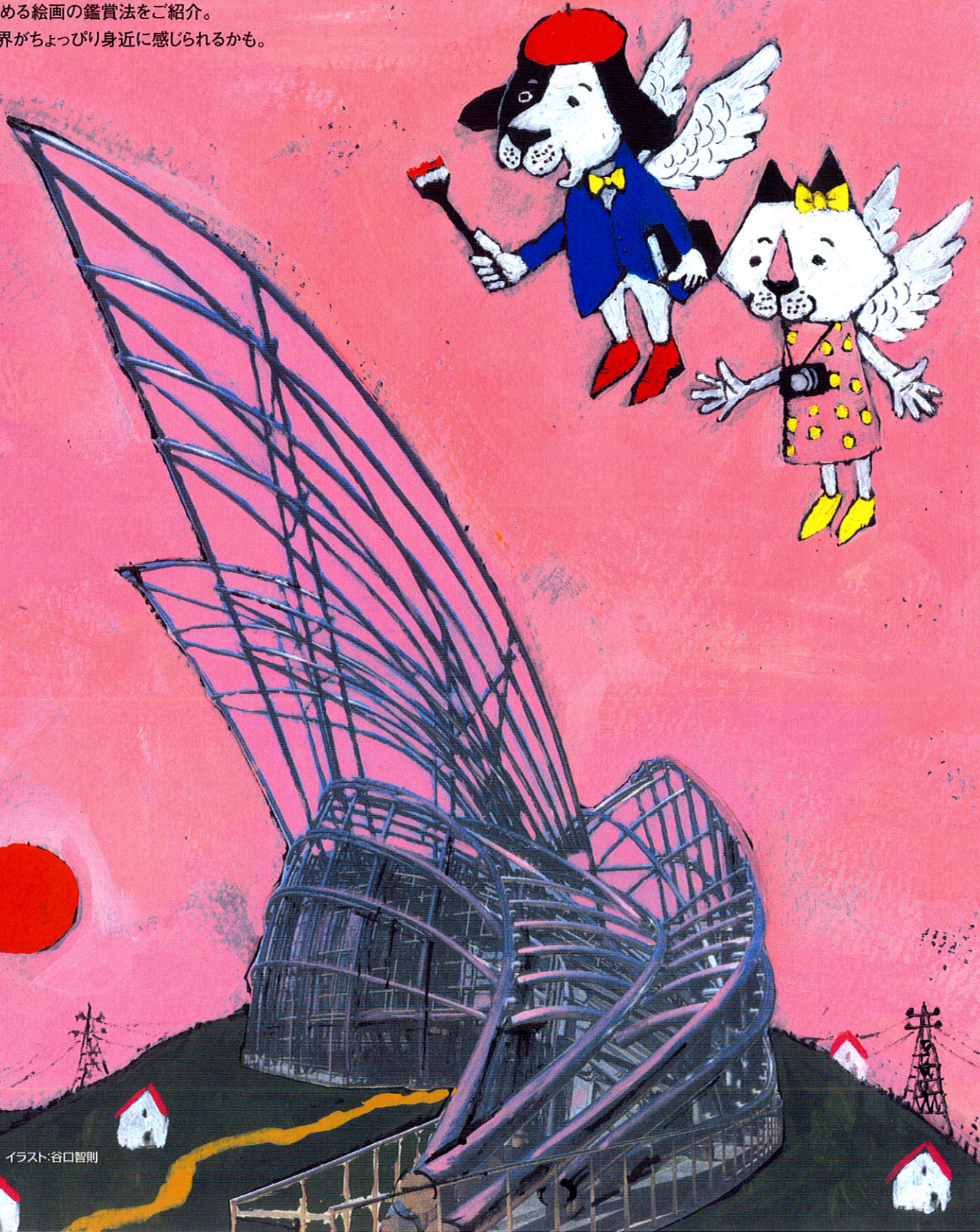


ART コトハジメ

2012 AUTUMN Vol.4

もっと楽しい、絵画の世界へ

いよいよ芸術の秋が到来して、素敵な美術展もめじろ押し。
でも展覧会なんて難しそう...なんて思いがちあなたに
気軽に楽しめる絵画の鑑賞法をご紹介します。
アートの世界がちょっぴり身近に感じられるかも。



エル・グレコで知る「ナルホド」絵画鑑賞法

スペイン三大画家として知られるエル・グレコ。この秋、世界中からその傑作を集めた大展示が開催されます。宗教画や肖像画など多彩なエル・グレコ作品を通して「へえ〜ナルホド」な絵画の見方をご紹介します。



1 中央でイエスを抱くマリアは赤い衣をまとっている
(聖アンナのいる聖家族) 1590-1595年頃
 メディナセリ公爵家財団タベラ監獄、トレド、スペイン
 ©Fundación Casa Ducal de Medinaceli, Hospital de Tavera, Toledo, Spain



3 謎めいた表情が印象的な肖像画
(白貂の毛皮をまとった貴婦人) 1577-1590年頃
 グラスゴー美術館(ロッキン・ハウス)、イギリス
 ©Culture and Sport Glasgow(Museums)

タテ347cmの大迫力!!



2 (無原罪のお宿り) 1607-1613年
 サンニコラス教区聖堂(サンタ・クルス美術館寄託)、トレド、スペイン
 ©Parroquia de San Nicolás de Bari, Toledo, Spain.

Point 1. 名画の裏にはルールやストーリーがある

エル・グレコの作品で最も多いのが宗教画です。聖書の内容を絵で表した当時の宗教画は、キリスト教の教えを広め、信仰心を高めるという役割を担っていました。「受胎告知」「十字架のキリスト」などの場面はおなじみでしょう。エル・グレコに限らず、西洋絵画には聖書や神話をテーマにしたものが多く、時代の背景や文化を色濃く反映しています。また宗教画には細かいルールがたくさんあり、例えば聖母マリアは赤と青の衣を着ているのが「お約束」。聖書の物語やそうしたルールを知れば、同じ絵も違って見えてくるかも。(作品 1 参照)

Point 2. まるで3Dのような迫力! 生の作品ならではの感動

美術史やテーマに関わりなく、ただ絵を見るだけでストレートに楽しむのももちろんOK。たとえば今回初来日するエル・グレコの「無原罪のお宿り」は、なんと高さ3m以上の大作。人物は細長くデフォルメされ、遠近法を超越した独特の表現は3D画像さながらの迫力! 絵の上部を見れば地面から天を見上げているように、下部を見ると天から地上を見下ろしているように見えるから不思議。鮮やかな色彩や、うねるような筆のタッチも圧巻です。本や画像では伝わらないパワーを感じられるのも絵画鑑賞の醍醐味でしょう。(作品 2 参照)

Point 3. 内面まで伝わる肖像画 あれこれ想像してみたい

実在する人物を描いた肖像画は、その人の人生や画家との人間関係などを思い浮かべながら鑑賞すると興味もアップ。エル・グレコが得意とした肖像画は、瞳の輝きや繊細な表情、何気ない指先の表情など、いきいきとした生命力にあふれ、モデルの内面まで透けて見えるよう。美術史上で最もミステリアスで魅力的な肖像の一つとされる「白貂の毛皮をまとった貴婦人」は、エル・グレコの娘? 内縁の妻? はたまたスペイン国王の娘? とも言われる謎の女性。吸い込まれそうな黒い瞳に思わずうっとり。いろいろな想像がふくらみそう!(作品 3 参照)

アトリビュートを知ればもっと名画が面白くなる!

- 「アトリビュート」とは、その人物のシンボルとなる持ち物のこと。絵画の中のアイテムや色のメッセージがわかると、面白さも倍増!
- 百合** 純潔の象徴。「受胎告知」の場面で、マリアのもとを訪れた大天使ガブリエルの手元や花瓶などに描かれる
 - シュロ(ナツメヤシ)** 砂漠に暮らす人々にとって大切な常緑樹。聖なるもの・殉教者・忍耐などの意味。キリスト教の殉教者が手にする
 - ばら** 愛と美の女神ヴィーナスの花として古くから知られる。聖母マリアや聖女ドロテアを象徴する場合もある
 - 鳩** 平和の象徴としておなじみ。キリスト教では聖霊を表し、「受胎告知」でも聖霊の力でマリアが懐胎したことを示す
 - 鍵** キリストに天国の鍵を渡される場面があることから、十二使徒の一人、聖ペトロを指す。他に権威や忠誠の意味も
 - 竜** キリスト教美術では竜は悪の象徴。竜を退治した聖ゲオルグウスや大天使ミカエルの絵に登場する
 - 色のもつ意味** 青(天国・真実・聖母マリア)、赤(慈愛・キリスト)、黄色(裏切り・ユダ)、クリスマスカラー(赤はキリストの血・緑は再生や永遠・白は神や無垢)

「エル・グレコ」とは実は「ギリシャ人」という意味の愛称(本名はドメニコス・テオトコプーロス)。ギリシャ・クレタ島に生まれ、イタリアを経てスペインへと渡り、16〜17世紀にかけて活躍しました。ギリシャのヘレニズム文化や、イタリアのルネサンス、さらにスペイン美術が複雑に融合した独自の画風を確立。後にあわせてスペイン三大画家と呼ばれるベラスケスやゴッヤはもちろん、あの天才画家ピカソにも多大な影響を与えています。

監修/国立国際美術館 主任研究員 安来正博

クリスマスオーナメントをもらってね!

京都神のレストランやホテル、書店などで「エル・グレコ」オリジナル、クリスマスオーナメントをプレゼント。詳しくは、10月中旬ごろからの「エル・グレコ」公式ホームページ (<http://www.el-greco.jp>) でご紹介いたします。

オススメの展示会をピックアップしたよ! *開館時間や休館日は事前に確認ください。

国立国際美術館/10月16日~12月24日
エル・グレコ展

国内史上最大規模で大阪に初上陸!
 スペイン絵画の巨匠の名品が一堂に

エル・グレコは、世界的巨匠でありながら、日本では作品をほとんど見るのできない画家の一人。国内史上最大規模となる今回の展示会には、ブラド美術館やボストン美術館など世界中の名だたる美術館やトレードの教会群から、選り抜きの名品が集結します。ただ単に作品を時系列で紹介するのではなく、各作品がどのような時代的・文化的背景から生み出されたのかという興味深い観点から構成。趣向を凝らした展示を通して、エル・グレコ芸術を形作るさまざまな要素をより具体的に理解できます。何よりも、エル・グレコの絵画に見られる、今日のデザインや劇画にも通じる現代性は、見る人に没後400年という時間を超越する感動をもたらしてくれることでしょう。

(受胎告知) 1576年頃 ティッセン=ボルネミッサ美術館、マドリッド
 ©Museo Thyssen-Bornemisza, Madrid

神戸市立博物館/9月29日~2013年1月6日
マウリッツハイス美術館展
 オランダ・フランドル絵画の至宝

フェルメールの人気作品をはじめ
 17世紀オランダ・フランドル絵画が競演

西洋美術史を語る上で欠かせない多数の巨匠たちを輩出した17世紀のオランダやフランドル。その世界的コレクションで知られるオランダ・ハーグのマウリッツハイス美術館が改修工事に入るのをきっかけに、同館から選りすぐりの名品約50点が日本にやってきます。注目は、世界的なフェルメール・ブームのシンボリック的存在として人気の高い「真珠の耳飾りの少女」。最初期の作品「ディアナとニンフたち」とあわせて2点のフェルメール作品が並ぶ貴重な機会が実現しました。レンブラントによる最晩年の「自画像」、肖像画の名手フランク・ハルスによる「笑う少年」など、巨匠たちの息もつかせぬ傑作の数々を堪能できる、またとないチャンスです。

ヨハネス・フェルメール「真珠の耳飾りの少女」マウリッツハイス美術館蔵

京都国立近代美術館/11月2日~12月16日
山口華楊展

生命感にあふれた花鳥画や動物画
 山口華楊の大規模な回顧展

動物や鳥、花などを描き続けた近現代日本画壇を代表する画家、山口華楊(1899~1984)。西村五雲に師事後、京都市立絵画専門学校に学び、早くから高い評価を得て活躍しました。円山・四条派の写生画を継承するとともに、鋭敏な感性と優れた知性によって、生命感に満ちた温かみのある花鳥画、動物画の世界を開拓。1981年には文化勲章も受章しています。本展は、そんな華楊芸術の神髄を、本画80点と素描約40点により紹介する大規模な回顧展。また、構想画や下図もあわせて展示され、本画が完成するまでの創造の過程も見ることが出来ます。みずみずしい生命の輝きを描いた山口華楊の世界を、じっくり楽しむことができます。

「青竹」昭和53(1978)年 北澤美術館蔵

足を伸ばして行ってみよう! 関西のART SPACE *展示やイベントの詳細は各施設へお問い合わせください。

Event Schedule	9月	10月	11月	12月
京都文化博物館 075-222-0888	開催中~9/23 「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術 一千年の都」	10/3~11/25 「シャガール展2012 ー愛の物語」		
京都国立博物館 075-525-2473		10/13~11/25 「宸翰(しんかん) 天皇の書 ー御手(みて)が織りなす至高の美ー」		
京都国立近代美術館 075-761-9900	9/7~10/21 「近代洋画の開拓者 高橋由一」		11/2~12/16 「山口華楊展」	
京都市美術館 075-771-4107		10/10~12/16 「大エルミタージュ美術館展 世紀の顔 西欧絵画の400年」		12/1~2/3 「須田国太郎展 没後50年に顕彰」
美術館「えき」KYOTO 075-352-1111	9/7~10/28 「輝ける皇妃 エリザベト展」		11/2~12/2 「山口見展 ー山口見と申します 老若男女ご覧あれー」	12/6~12/27 「レオ・レオニ 絵本のしごと Leo Lionni Book! Art! Book!
細見美術館 075-752-5555	開催中~9/30 「ロイヤル コペンハーゲン ビンゴ オーグレンダール」	10/6~12/24 「細見美術館アートキャンパス2012 ー日本美術の見方 いきもの編ー」		
国立国際美術館 06-6447-4680	開催中~9/30 「リアル・ジャパネスク: 世界の中の日本現代美術」	10/16~12/24 「エル・グレコ展」		
大阪市立東洋陶磁美術館 06-6223-0055	開催中~10/14 「白磁を飾る青ー朝鮮時代の青花」		10/27~12/25 「国宝 飛青磁花生と国宝 油滴天目茶碗 ー伝世の名品ー」	
大阪歴史博物館 06-6946-5728	9/15~11/25 「ウクライナの至宝 ースキタイ黄金美術の煌めきー」			
大阪市立美術館 06-6771-4874	9/11~10/21 「紅型 琉球王朝のいろとかたち」		10/30~12/9 「北斎 ー風景・美人・奇想ー」	
国立民族学博物館 06-6876-2151	9/13~11/27 「世界の織機と織物 ー織って! 織りのカラクリ大発見」			
大阪市立自然史博物館 06-6697-6221	開催中~10/14 「のぞいてみようハチの世界 ーかわいい? こわい? おもしろい! ー」			
大阪市立近代美術館(仮称)心齋橋展示室 06-4301-7285	9/15~11/25 「ザ・大阪ベストアート展 ー府&市モダンアートコレクションからー」			
堺市立文化館アルフォンス・ミュシャ館 072-222-5533	開催中~11/11 「ミュシャ館の質問箱」		11/17~3/10 「ミュシャを愛した日本人」	
神戸市立博物館 078-391-0035		9/29~1/6 「マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝」		
兵庫県立美術館 078-262-0901	開催中~10/14 「バーン・ジョーンズ展 ー英国19世紀末に咲いた華ー」	10/27~12/24 「キュレーターからのメッセージ2012 現代絵画のいま」		
神戸ファッション美術館 078-858-0050	開催中~10/2 「セブの肖像 ーケヴィン・ウエステンバークの視線ー」	10/18~1/8 「巨匠(マエストロ) フォルチュニの夢 2012 絹(シルク) 見聞録」		
伊丹市立美術館 072-772-7447		9/22~11/4 「中原浩大 Drawings 1986~2012 コーちゃんは、ゴキガ?」	11/10~12/24 「鬼海弘雄写真展 PERSONA 東京ポर्टレイト、インディア、アナトリア」	
西宮市大谷記念美術館 0798-33-0164	開催中~9/23 「2012 イタリア・ボローニャ国際絵画展」	10/13~12/16 「開館40周年記念 フランスvs日本 近代絵画」		
神戸市小磯記念美術館 078-857-5880	開催中~10/8 「女性のいる情景」	10/14~12/24 「開館20周年記念 誕生110年 小磯良平の世界」		
芦屋市立美術館 0797-38-5432	開催中~9/23 「中世・近世の芦屋 ー伊勢物語への情景と特異な文化/近代の芦屋」	10/6~10/21 「芦屋写真展」	11/3~12/16 「芦屋巡礼の路 ー信仰のかたちー」	
姫路市立美術館 079-222-2288	9/13~10/21 「現代郷土作家展 吉本直子・久保健史・浅田暢夫」	11/3~12/16 「象徴派 ー夢幻美の使徒たち」		
奈良国立博物館 050-5542-8600	開催中~9/17 「頼朝と重源 ー東大寺再興を支えた鎌倉と奈良の絆ー」	10/27~11/12 「第64回 正倉院展」	12/8~1/20 「おん祭と春日信仰の美術」	
奈良県立美術館 0742-23-3968	開催中~10/8 「日本の伝統絵画 ー材質、形態、画題」	10/20~12/16 「絹谷幸二 ー豊饒(ほうじょう)なるイメージー」		
滋賀県立近代美術館 077-543-2111	開催中~9/23 「自然学 SHIZENGAKU ー来るべき学問のためにー」	10/6~11/25 「石山寺縁起絵巻の全貌 ー重要文化財七巻一挙大公開ー」	12/4~12/16 「第66回 滋賀県美術館展覧会」	
MIHO MUSEUM 0748-82-3411	開催中~12/9 「土偶・コスモス」			

Present

抽選で展覧会のペア鑑賞券をプレゼント。メールまたはハガキでご応募ください。

各展覧会
ペア3組を
ご招待!
締切10月5日(金)

【記入内容】①ご希望の鑑賞券の番号と展覧会名 ②氏名、郵便番号、住所、電話番号、年齢、職業
③「ARTコトハジメ」は、どこで手にしましたか?
※発表は発送をもってかえさせていただきます。
※応募時にいたく個人情報情報はプレゼント発送、また紙面向上の目的以外に利用することはありません。

【応募先】メール/present@freecard.co.jp、
ハガキ/〒531-0074 大阪市北区本庄東2-2-8 (有)フリーカード・システム「ARTコトハジメ プレゼント」宛

1 | シャガール展2012 —愛の物語

京都文化博物館 ◆10月3日～11月25日



画の上で 1917年 トレチャコフ美術館 ©ADAGP Paris & SPDA, Tokyo 2012. Chagall ©Photography ©The State Tretyakov Gallery

2 | 宸翰(しんかん) 天皇の書

京都国立博物館 ◆10月13日～11月25日



3 | 輝ける皇妃 エリザベート展

美術館「えき」KYOTO ◆9月7日～10月28日



右上「エリザベートの皇妃の聖像」、
左下「ファッションイラストレーション」
※本画複製画は出版されません。

4 | ウクライナの至宝 —スキタイ黄金美術の煌めき—

大阪歴史博物館 ◆9月15日～11月25日



魂胆付まると 紀元前4世紀 National Historical Museum of Ukraine / Museum of Historical Treasures of Ukraine

5 | 北斎 —風景・美人・奇想—

大阪市立美術館 ◆10月30日～12月9日



「富士三十六景 凱風快晴、鳥居屋立美術館 展示期間10/30～11/18

6 | ミュシャ館の質問箱

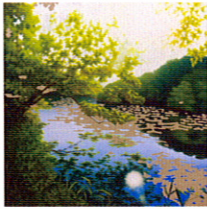
堺市文化館 ◆開催中～11月11日



【兵庫県立美術館】1997年
リトグラフ、紙

7 | キュレーターからのメッセージ2012 現代絵画のいま

兵庫県立美術館 ◆10月27日～12月24日



新橋通子(N34-43-27 E135-39-53)
1941/1940m キャンパスに撮影 2007
©Courtesy of Gallery Hoopkawa

8 | 鬼海弘雄写真展 PERSONA

伊丹市立美術館 ◆11月10日～12月24日



日にちを笑え、花火大会だと思って
まじまじと見つめて 2009年

9 | 山口華楊展

京都国立近代美術館 ◆11月2日～12月16日

10 | エル・グレコ展

国立国際美術館 ◆10月16日～12月24日

11 | 国宝 飛青磁花生と国宝 油滴天目茶碗 —伝世の名品—

大阪市立東洋陶磁美術館 ◆10月27日～12月25日

12 | のぞいてみようハチの世界

大阪市立自然史博物館 ◆開催中～10月14日

13 | マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル 絵画の至宝

神戸市立博物館 ◆9月29日～1月6日

14 | 巨匠(マエストロ) フォルチュニイの夢2012 絹(シルク)見聞録

神戸ファッション美術館 ◆10月18日～1月8日

15 | 芦屋写真展

芦屋市立美術館 ◆10月6日～10月21日

16 | 象徴派 —夢幻美の使徒たち

姫路市立美術館 ◆11月3日～12月16日

Special Thanks

「ARTコトハジメ」2012 秋号の設置ご協力、ありがとうございます。

京都国立博物館
京都市東山区茶屋町527 075-525-2473
■京阪電車「七条」駅から徒歩7分

京都国立近代美術館
京都市左京区岡崎円勝寺町 075-761-9900
■京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩10分、阪急「烏丸」駅「河原町」駅、京阪「三条」駅からバス5番番倉行「京都美術館前」下車

京都市美術館
京都市左京区岡崎円勝寺町124 075-771-4107
■京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩10分、阪急「烏丸」駅「河原町」駅、京阪「三条」駅からバス5番番倉行「京都美術館前」下車

美術館「えき」KYOTO
京都市下京区烏丸通堀小路下東塩小路町 075-352-1111
■JR、近鉄、地下鉄「京都」駅直結

大阪市立東洋陶磁美術館
大阪市北区中之島1-1-26 06-6223-0055
■地下鉄御堂筋線・京阪「淀屋橋」駅1号出口、地下鉄堺筋線・京阪「北浜」駅26号出口からいずれも約400m、京阪中之島線「なにわ橋」駅1号出口すぐ

国立国際美術館
大阪市北区中之島4-2-55 06-6447-4680
■京阪電車中之島線「渡辺橋」駅2番出口から南西へ徒歩約5分

大阪市立美術館
大阪市天王寺区茶臼山町1-82天王寺公園内 06-6771-4874
■大阪市営地下鉄「JR」天王寺駅、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅から北西へ約400m

大阪歴史博物館
大阪市中央区大手前4丁目1-32 06-6946-5728
■地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅9号出口前

大阪市立自然史博物館
大阪市東住吉区長居公園1-23 06-6697-6221
■地下鉄御堂筋線「長居」駅南改札口3号出口から東へ約800m

伊丹市立美術館
兵庫県伊丹市宮ノ前2丁目5番20号 072-772-7447
■阪急「伊丹」駅から徒歩北東へ約9分、JR「伊丹」駅から徒歩北西へ約6分

兵庫県立美術館
神戸市中央区臨海海岸通1丁目1番1号 078-262-0901
■阪神「岩屋(兵庫県立美術館前)」駅から南へ徒歩約8分、JR「灘」駅南口から南へ徒歩約10分

神戸市立博物館
神戸市中央区京町24 078-391-0035
■JR「三ノ宮」駅、ポートライナー・地下鉄(山手線)・阪急・阪神「三宮」駅から南西へ徒歩約10分

神戸ファッション美術館
神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1 078-858-0050
■六甲ライナー「アイランドセンター」駅下車南東へすぐ

芦屋市立美術館
兵庫県芦屋市伊勢町12-25 0797-38-5432
■阪神「芦屋」駅から南東へ徒歩約15分

姫路市立美術館
兵庫県姫路市本町68-25 079-222-2288
■JR・山陽電車「姫路」駅徒歩約20分

奈良国立博物館
奈良市登大路町50番地 052-5542-8600
■近鉄「奈良」駅下車 登大路町を東へ徒歩15分

サンケイホールブリーゼ
大阪市北区梅田2-4-9ブリーゼタワー7F 06-6341-8888
■地下鉄四つ橋線「西梅田」駅徒歩3分、JR「大阪」駅徒歩5分、阪神「梅田」駅徒歩5分、JR東西線「北新地」駅徒歩5分

京都芸術センター
京都市中京区室町通錦葉師下ル山伏山町546-2 075-213-1000
■阪急「烏丸」駅、地下鉄「四条」駅下車、徒歩5分

※展示会・作品に関するお問い合わせは、各施設・主催者などにご連絡ください。